

授業コード : 22146

授業科目名 : 生きがい情報総論

受講者数 : 90 名

担当教員名 : 佐藤 隆三

回答者数 : 58 名

学 部 : 医療福祉 総合政策 科学技術 無回答

学 科 専 攻 : 理学療法 作業療法 言語聴覚 視覚機能 看 護

保健福祉 生活福祉 精神保健 総合政策 知能情報

人間環境 無回答

学 年 : 1年 2年 3年 4年 無回答

設 問 文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均
A: 授業への取り組みについて	そうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうとはいえない	そうとはいえない		
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	20	28	7	2	0	4.16	4.37
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	6	14	21	6	10	3.00	3.42
問3. 授業を受講する前に授業概要を確認しましたか	8	16	17	7	10	3.09	3.37
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	4	9	20	12	13	2.64	3.16
B: 学習環境について							
問5. 教室の設備環境(広さ、明るさ、外部からの雑音、実習器具など)は適切でしたか	11	20	16	11	0	3.53	4.13
問6. 受講学生数は(講義受講者数、演習・実習時の教員数など)適切でしたか	9	21	21	5	2	3.52	4.09
C: 授業内容・方法・成果について							
問7. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	11	22	21	3	1	3.67	4.06
問8. 授業内容は理解しやすかったですか	9	24	21	2	2	3.62	3.85
問9. 授業中に質問しやすい環境でしたか	4	15	19	15	5	2.97	3.58
問10. 教員が指定した教科書や参考書、教材や資料が適切で工夫がみられましたか	7	22	21	4	3	3.46	3.84
問11. 黒板の書き方、ビデオやスライドの使用は適切でしたか	8	24	16	9	1	3.50	3.84
問12. 授業中に声が十分に行き渡っていましたか	17	22	16	2	1	3.90	4.16
問13. 教員は授業中の静寂を保つために適切な配慮をしていましたか	14	18	20	5	1	3.67	3.97
問14. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	7	23	22	4	1	3.54	3.91
問15. 授業概要または授業始めに提示された到達目標は達成されましたか	6	22	26	4	0	3.52	3.87
問16. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	7	19	21	10	1	3.36	3.87
D: 授業の全般的印象							
問17. 教員の熱意を感じましたか	12	23	21	0	2	3.74	4.14
問18. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	10	22	22	3	1	3.64	3.98
問19. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	8	21	23	5	1	3.52	3.99

学生へのメッセージ

本科目では、特に問2:授業外学習活動、問4:質問、問5教室の設備環境の改善が必要であった。授業外学習活動では、授業で実施した生きがい支援技術をさらに日常生活で実践することを復習課題としていたが、積極的な実践につながっていない状況が示唆された。この授業外学習は、日常生活が自己研磨の貴重な機会であることを学生自身が気付く有効な学習手段である。今後は、課題提示だけではなく、実践レポートの提出などの課題を出し、学生の授業外活動を支援していく必要がある。質問環境では、学生からの質問や意見を教員が直接受け付けるだけでなく、質問事項を出席カードに記入してもらい次回授業時に回答することにし、学生と意見交流しやすい質問環境を目指したが、学生からそうした形での質問がなかったことは残念である。教室の設備環境では、特にグループワークを行う際に可動式教室が少なく、学生に窮屈な思いをさせてしまった。履修希望者が多い場合は、クラス分けをして実施するなどの工夫が必要であった。最後に、学生からの自由記載事項は、今後の授業運営に有効な内容であった。学生自身が生きがいや、やりがいを持って15回の講義、及びその後の学生生活、さらには社会生活に取り組めるよう、担当教員一同として努力していきたい。

